

| 第34回西京コンサート |

佐渡裕

指揮

新日本フィルハーモニー交響楽団

ヴァイオリン
三浦文彰

次代の巨匠ヴァイオリニストと贈る
ブラームス最高傑作

ブラームス

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77

交響曲第1番 ハ短調 Op.68

© Yoji Hori

© Jun Yoshimura

© K.Miura

2026 5.30 土

14:00 開演
[13:00 開場]

周南市文化会館

チケット料金(全席指定/税込)

S 席	9,500 円	[会員 9,000 円]
A 席	8,500 円	[会員 8,000 円]
B 席	7,000 円	[会員 6,500 円]

※未就学児入場不可

※事情により公演内容が変更になる場合がございます。

プレイガイド

[周南] 周南市文化会館・演奏堂
[下松] スターピアくだまつ
[防府] アスピラート
[山口] 山口井筒屋

ローソンチケット (Lコード : 61698)
チケットぴあ (Pコード : 315-495)
イープラス (<https://eplus.jp>)

一般発売 / 2月22日[日] 先行発売 / 2月8日[日]

主催 | 西京銀行 / 西京教育文化振興財団 / 周南市文化振興財団 /



| 公演に関するお問合せ | 周南市文化会館 0834-22-8787

トップアーティストの「響宴」で味わうブラームス！ 音楽評論家 奥田佳道

マエストロ佐渡裕とヴァイオリンの三浦文彰がブラームスを奏でる。ファン憧れのトップアーティストの「響宴」に胸ときめく。愛すべきキーワードが浮かぶ。音楽の都ウィーンだ。佐渡も三浦もウィーンから檜舞台に羽ばたいた。ドイツ北部の港街ハンブルクに生れたブラームスも20代の終わりからウィーンに住み、ゴールドの装飾もまぶしい、あの楽友協会の監督も務めた。ブラームスはお気に入りの避暑地で創作のペンを執る夏の作曲家だった。傑作の誉れ高いヴァイオリン協奏曲は、オーストリア南部ヴェルター湖畔の美しい村ペルチャッハで書かれた。壮大にして優美。三浦が紡ぐ流麗かつ技巧的なソロパートばかりでなく、オーケストラがまた素晴らしい。夢見るような調べもハンガリー舞曲に通じる躍動感も聴こえてくる。練達のキャリアを誇る佐渡が、劇的な交響曲第1番に腕をふるう、と記しただけで早くも興奮を隠せないファンも多いことだろう。ここへきて演奏のクオリティをぐっと高めている新日本フィルハーモニー交響楽団と佐渡のステージは、いま音楽シーンの華だ。喝采が早くも聴こえてくるかのよう。ブラームスづくしのロマンティックなコンサート。開演が近づいてきた。



三浦文彰

Fumiaki MIURA (ヴァイオリン)

ハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。18年サントリーホールARKクラシックスのアーティスト・リリーダー、24年に宮崎国際音楽祭の音楽監督に就任。ロサンゼルス・フィル、マリンスキー劇場管、イスラエル・フィル、ベルリン・ドイツ響、NDRエルブ・フィルなどと共演。共演した指揮者ドゥタメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカマン、ロウヴァリ、フルシヤなど。ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務めた。室内楽では、ズーカマン、マイスキー、ピリスなどと共演。国内では、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題になった。24年、デビュー15周年を迎え、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い絶賛を博した。25年には、フィルハーモニア管、バンベルク響と共演。CDはエイベックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。使用楽器は株式会社クリスコ（志村晶代表取締役）から貸与された1732年製ガッラルネリ・デル・ジェス「カストン」。

佐渡裕

Yutaka SADO (指揮／音楽監督)

京都市立芸術大学卒業。レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。95年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでバリ管弦楽団、ケルンWDR交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアの名門トーンキュンストラ管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウィンド・オーケストラ首席指揮者、「サントリー1万人の第九」総監督などを務める。CD録音は多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した22枚目のCD「マーラー：交響曲第6番」。著書に「僕ははにかに指揮者になったのか」（新潮文庫）、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫／新書)など。

オフィシャルファンサイト
<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



新日本フィルハーモニー交響楽団 NEW JAPAN PHILHARMONIC SUMIDA, TOKYO

1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕(75～79年)、第2代音楽監督・井上道義(83～88年)、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク(03～13年)、第4代音楽監督・上岡敏之(16～21年)。ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP(10～16年)、インゴ・メッツマッハーがConductor in Residence(13～15年)、久石譲が新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(W.D.O.)音楽監督(04～25年3月)、Music Partner(20～25年3月)を務めた。受賞歴に三菱信託音楽賞奨励賞、三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ベンクラブ音楽賞等。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト：www.njp.or.jp 公式X：@newjapanphil
公式Facebook：/newjapanphil 公式Instagram：/newjapanphil



© K.Miura

アクセス

JR徳山駅
(みゆき口側)

山陽自動車道

中国自動車道



徒歩

約25分(1.8km)



タクシー

5分



バス

5分

4番のりば[動物園北口経由北山行き]
6番のりば[徳校・バイパス経由のバス]
8番のりば[ちよい乗り100円バス(9:00～18:00)]
※土日のみ運行。徳山駅毎時 00,20,40分発、
動物園文化会館入口下車。



徳山東ICより国道2号を西へ 8分(5km)
徳山西ICより国道2号を東へ 20分(14km)



鹿野ICより国道315号を南へ 40分(25km)

周南市文化会館

周南市文化会館

至防府

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC

至徳山IC